

**家庭科**

学年	コース	教科	科目	単位数	必修または選択科目
1年	海洋科・食品工学科	家庭	家庭基礎	2	必修

**1 学習内容と学習到達目標**

人の一生と家族・家庭及び福祉,衣食住,消費生活・環境などについて,生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに,それらに係る技能を身に付けるようにする。

**2 使用教科書**

教科書	高等学校 家庭基礎 (183 第一) 持続可能な未来をつくる	副教材等	教科担当作成プリント,実習プリント
-----	-----------------------------------	------	-------------------

**3 年間の学習計画**

学 期	学習内容	月	学習のねらい	備考【学習の特記事項など】
1 学 期	「家庭基礎」の学習について	4	○学習の意義や内容,学習や評価の方法を理解する。	アンケート
	1章 これからの生き方と家族	5	○各ライフステージの特徴と課題を理解する。	研究発表の DVD 視聴
	1節 生涯の生活設計	6	○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ, 職業選択も見通す。	
	2節 家族・家庭と社会とのかわり		○現在の家族の特徴について家族構成や家族規模の変化, 人々の意識の変化などから理解する。	
			○家族・家庭を支える労働の意義や特徴を理解し,男女が協力して家庭を築くことの重要性を認識する。	
		○家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し理解する。		
	5章 食生活をつくる	7	○ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質,健康や環境に配慮した食生活について理解し, 自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を理解する。	DVD 視聴「食中毒を防ごう」
1節 人の一生と食事	○行事食・郷土料理や他国の料理に関心を持ち,生活の知恵が生かされていることを学ぶ。地域で伝承されてきた行事食や日常食に触れ, 食文化を継承する意義を学ぶ。			
2節 栄養と食品	調理実習 ①ご飯の炊き方,野菜の切り方			
3節 食生活の安全のために	②洋風料理			
4節 食生活をデザインする	③行事食		ホームプロジェクトの発表	
2 学 期	2章 次世代をはぐくむ	9	○乳幼児期の心身の発達と生活,親の役割と保育, 子供を取り巻く社会環境,子育て支援について理解するとともに, 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能について学ぶ。	新聞記事の切り抜き 「児童虐待について」 DVD 視聴 沐浴実習・折り紙遊び 絵本の読み聞かせ実習
	1節 子どもの発達	10	○衣服の機能と着想, 人間と被服のかかわりについて学習する。	衣服の基礎縫い (弁当袋)
	2節 子どもの生活			
	3節 子育て支援と福祉			
	6章 衣生活をつくる	11		
1節 人の一生と被服				

3 学 期	2節 被服材料と管理 3節 これからの衣生活		○基礎的な縫い方,ミシンの取り扱い方を知る。 ○洗剤の働きと汚れが落ちるしくみを理解し,被服材料に応じた洗濯,仕上げ,保管の必要性を認識する。 ○環境保全に配慮した再利用や適正な廃棄の方法などを学ぶ。また,資源の有効利用の観点から循環型の被服計画の必要性について理解する。	実験「洗剤の働き」 「しみぬき」
	8章 経済生活をつくる 1節 私たちの暮らしと経済 2節 消費者問題を考える 3節 持続可能な社会をめざして	12 1	○家計管理の基本について理解するとともに,生涯にわたる短期・長期の生活設計を行う上で必要なリスク管理の方法などを理解する。 ○キャッシュレス社会が家計に与える利便性と問題点を理解する。	高齢者インタビュー (冬季休業中) DVD 視聴
	4章 ともに生きる 3章 充実した生涯へ	2	○生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解する。 ○生涯を通して家族の食の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 ○高齢期の心身の特徴,高齢者を取り巻く社会環境,高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。	高齢者疑似体験 DVD 視聴
	7章 住生活をつくる 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択	3	○生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 ○ライフステージの特徴や課題に着目し,住生活の特徴,防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。	平面図作成 DVD 視聴

#### 4 評価の観点と趣旨及び評価方法

(具体的な評価基準は,下の表を参考にしてください)

評価の観点と趣旨		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。</li> <li>・情報の収集・整理ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート等の点検</li> <li>○レポート,ノートの点検</li> <li>○定期考査 ○被服実習の作品</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域の生活について問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>・課題の解決を目指して思考を深め適切に判断し,工夫し創造する能力を身に付けている。</li> <li>・家庭や地域の生活について関心を持ち,その充実向上を図るために主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート等の点検</li> <li>○レポート,ノートの点検</li> <li>○定期考査</li> <li>○被服実習の作品</li> <li>○授業中の発表の内容や仕方</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家庭,地域の生活の充実向上を図るために主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>○休日課題の提出状況</li> </ul>

<各学期の学習状況の評価方法・年間の学習状況の評価方法>

各学期とも上記の3項目の観点に基づき,総合的に評価する。年間については,各学期の成績を平均化し,1年間の学習状況を総合的に判断し,学習成績とする。